

- ・内容はもちろんですが、池川先生の「医学・科学だけではない」という心の持ち方、自然の摂理など人、家族とのかかわり、そして先生のお人柄にとっても感激しました。死産経験者としても思うことがありました。
- ・「死にたい赤ちゃんがいる、命をかけてお母さんにメッセージを伝えている。命の大切さを教えている」などはいいお産とは何かを考えさせられた。
- ・言葉もわかりやすく、先生の体験談も入れ、とても楽しかった。特にベビーの表情や記憶については興味深かった。先生が助産師に対してフレンドリーな点も好感が持てたかもしれない。
- ・単純に面白かったです。
- ・医師と助産師の連携は院内でも助産所と病院との間でもはずせないもののはずなのに、現実にお互いが理解しあい、歩み寄るのはとても難しいと感じた。でもこれから先は一番大切な課題になっていくと思うから意識改革の必要性を感じた。

⑦ 母乳と親子関係

- ・カンガルーと初乳、ぜひぜひ実践すべき。友人に伝えてまわります。
- ・カンガルーケアという言葉も今まで知らず、今回初めて内容、効果を理解できました。新鮮な気持ちになれてよかったです。
- ・母児同床、母乳育児、カンガルーケアの大切さ、周産期が長期的に母子関係に与える影響の大きさを教えていただきとてもよかったです。
- ・新生児の感染症の原因や対策がよくわかった。カンガルーケアに関しては実際の調査結果に基づいてお話され勉強になった。
- ・母子関係で大切なことを教えていただきました。カンガルーケアと母乳の意義を新たに認識しました。
- ・母子のふれあいがその後の母子関係に及ぼす影響が先生のお話とデータからもよくわかりました。お母さんが行う普通の献身的行為の大切さの話が興味深かったです。ベビーが母と自分を一心同体と思って異なる人間を認識するまでの話がよかったです。
- ・母乳や早期の母親とのふれあいがその後の育児に影響することを知りました。改めて母乳の大切さを感じました。
- ・カンガルーケアのその後に及ぼす影響がこんなにもあるとは知りませんでした。
- ・EBMに基づいた話でとても説得力があった。とても勉強になった。話されるスピードも聞きやすかった。
- ・最後の講義で少し頭が疲れてまわっていなかったが、新しい情報をたくさん知ることができた。
- ・母乳とカンガルーケアが常在菌の点からも良いということを初めて知りました。
- ・具体例をたくさん話して欲しい。カンガルーケアについて聞くことができてよかった。
- ・カンガルーケアの効果、データに基づいての研究内容の説明に興味深かった。
- ・カンガルーケアについてもよくわかったが、もっと現在のNICUの現状などを聞きたかった。
- ・カンガルーケアの必要性がなんとなくからとてもよく理解できた。少しグラフ類が多く、疲れてしまった。
- ・MRSA感染が重なっていた。
- ・感染への知識を深めることは新生児科管理への第一歩だと思いますので、母乳、親子関係のお話と共に“NICUの感染対策”の第一人者であられます先生のお話は勉強になりました。
- ・感染に対する新しい（知らなかったこと）情報がたくさんあって勉強になりました。
- ・カンガルーケアの重要性や注意点が具体的に理解できた。
- ・先生のお話は昨年以降3回目ですが、記憶の確認修正ができた。
- ・カンガルーケアについてわかりやすかった。○先生との考えも同じで受け入れやすかった。MRSA やMSSA についてはわからないところもあったため、自分の勉強不足を知ることができ、課題となった。
- ・母乳育児について別の視点から見ることのできる知識を与えていただいた。様々なデータを見せていただき「納得」することができた。
- ・カンガルーケアの効果について、豊富な研究データに基づき話された内容は説得力が合った。今後エビデンスに基づいた指導ができると思う。
- ・母乳がやはりすごい力を持っているということ、カンガルーケアが出産後の育児、児の成長に大きな効果があるということ、改めて学ぶことができました。
- ・カンガルーケア、常在菌をつけること、十分理解できました。やってきたケアを確認できてうれしかった。
- ・生きていく中でスタートである、妊婦胎児、そして出産育児の受容性を再認識しました。
- ・カンガルーケアの言葉はよく耳にしたが、統計からその効果を見せていただいた。
- ・母乳とカンガルーケアが母子関係を良好にするだけでなく、赤ちゃんを MRSA などの感染から守り、腸内に最初にビフィズス菌が入ることで、子どもの一生の体調にも関わってくるということに奥深さを感じました。短時

間であっても直接皮膚を接触させる生後すぐ初乳を飲ませることの大切さがわかりました。

- 以前にカンガルーケアの講演をおききしていたので、改めて最初の母児、家族の密着が今後の育児に肯定的な意欲を与えることがよくわかりました。「カンガルーケアをしていなかったから」という否定的な風潮がないようにいつからでもOKだということも伝えたい。
- 出生児のカンガルーケアは母の共鳴、共感を増強させる。自我否定的発生を減少させることがわかり、母の安定した愛着の存在がわかった。
- 改めて母乳育児の大切さを学びなおしました。(カンガルーケアについても) データで示されたので納得できた。
- 大切なことをポイントを上げて教えていただきましたが、資料にも載っておらずメモしきれなかったことが残念です。
- 今まで漠然と“これがいいと思う”とやってきていたケアが、こういう理由からいいんだということがはっきりわかってよかった。話を聞きながらもう一度出産したくなりました。

⑧ 妊婦の指導 (演習を含む)

- 助産師も時代に合わせて変わっていかなくてはいけないと感じました。
- 自分の一方的な思い出よいと思ってしどろしていることでも、まだまだ相手のことを考えられていないことに気づかされた。やさしく細かく砕いた言葉でつたえられる努力をしようと思った。
- 参加型の妊婦指導に変わってきていることを知り、私たちも参加型での指導を考えていきたいと思った。
- 最近の助産、トピックスについて知ることがよかったです。妊娠中禁忌のアロマの精油が間違っていましたか…
- 就業しなくても少し自信がもてた。多彩な情報を抵抗なく聞けてよかった。
- ツボ療法、アロマセラピー、フリースタイルなどの実際での援助を学ぶことができました。
- 学校卒業後月日がたっているので、言葉など難しい説明が多く、具体的にわかりにくかった。
- 学生が学校で講義を受けている感じで、あまり伝わりにくかった。難しいことばが多く、それを一言で語るにはもっと深い意味があるように思う。なんとなくわかった。
- 新しい方法を学生に教えるような話し方でよくわかった。
- 実際の演習を期待していました。
- 今学生さんがされていることなど指導教官の立場で教えていただいたが、実際働いている助産師の立場からの話も聞きたかった。
- “参加型”というものを教えていただき新しい知識を得ました。
- 演習の中の伝言ゲームでは自分の頭の悪さに途方にくれてしまいました。あでも確かに耳慣れない難しい言葉は頭にはいらぬということを経験できてよかったです。
- 参加型学習における、対話の重要性と言葉を選んで使用することがいかに必要かがわかりました。
- 助産院での実際と病院との比較があつて、納得しやすかった。
- とてもわかりやすくてよかった。ほんの少し実践的なことが多くてもよかったかなあとと思います。
- 参加型の教室の持ち方など、考えるよい機会になった。共に考え悩み、相手の立場にたつて考えられる指導のあり方も考えていきたい。
- 具体的な分娩介助についてよく理解できた。
- 妊婦の指導ということで自分自身が今まで行ってきた内容、自身が受けた指導について振り返ることができました。
- 難しい言葉を使っていないか、あたりまえのようだが、実際にゲームをしてみて実感できよく理解できた。「ファシリテーターにとって大切な原則」身にしみました。
- 近く両親学級に参加する予定があるので、(話す立場で) 参考になりました。参加型の学級にするには・・・自分なりに考えてみたいと思う。
- 妊婦さんに寄り添うような妊婦健診、母親学級が求められているとわかりました。教える指導するという立場でなく、共に考え、答えを見出していくということを心がけていこうと思います。伝言ゲームでは一生懸命伝えようとしてもなかなか伝わらないものだと実感できました。分かりやすい言葉でということはとても大切だと思いました。
- 一般の人にとって妊娠中の説明は耳慣れない言葉なのだを再認識した。ただ、情報のありぐれた中で先に不安のたっている妊婦さんも多く、共に情報を共有する範囲の見極めも大切だと思う。
- 「ツボ」「アロマセラピー」は興味深く聞きました。寄り添いながら一緒に考えながらのケアも奥深い。日々勉強と思った。
- 先生のお話の内容に納得する点が多かった。アロマ、足浴、などは是非実施してみたい。会陰マッサージは医師の

許可がないと無理？

- ・ ツボの話についてもっと知りたいと思った。
- ・ 感覚的には参加型の指導がいいのはよくわかるし、自分が受けるとしてもそういうものの方がうれしいが、実際やろうとする時にとても難しいと思った。

⑨ 産婦褥婦指導（演習を含む）

- ・ 実際に役立つことをたくさん教えていただきました。
- ・ 具体的なケアの方法がわかってよかった。
- ・ 助産の教育の中、ツボやアロマ、足浴が入り、フリースタイルの分娩をしていると知りびっくりしました。
- ・ 新しい知識が得られたと思います。
- ・ 具体的なツボやアロマのことなどよくわかった。もっと自宅の助産院の話なども聞きたかった。
- ・ 産婦については、かなり考えさせられたが、褥婦についてももう少し話してほしかった。
- ・ 新しい方法が学生に教えるような話し方でよくわかった。
- ・ 今学生さんがされていることなど指導教官の立場で教えていただいたが、実際働いている助産師の立場からの話も聞きたかった。
- ・ 近年のあり方がよく分かりました。
- ・ フリースタイルの分娩等には興味もありますし、実際の臨床の場に復帰した場合もすぐに必要な知識、手技であると思うので、もう少し詳しくお話いただけたらよかったかなあとと思う面も少しありますが、全体としては勉強になりました。
- ・ フリースタイルでの分娩介助（分娩経過）が人形モデルを使っての実演だったので、とてもわかりやすかった。
- ・ フリースタイル分娩は熟練した技術がないと難しいと感じました。ツボも根拠があって正しい知識をもっていないといけなと感じました。
- ・ 助産院でのフリースタイル介助ケースも教えていただけるともっと良かった。内関穴の位置は少しあいまいだった。
- ・ とてもわかりやすくよかった。ほんの少し実践的なことが多くてもよかったかなあとと思います。
- ・ アロマやツボなど興味ある分野について話が聞けて参考になった。
- ・ 具体的な分娩介助についてよく理解できた。
- ・ ツボやアロマセラピーなどもっと詳しく知り内容が盛りだくさんでした。今後更に研修会などで勉強したいとお思います。
- ・ ツボ、足浴、フリースタイル分娩、おもしろかったです。すぐ実際にできて役立ちそうでした。
- ・ フリースタイル分娩やつぼ、アロマセラピー、会陰マッサージなど興味深く、勉強になりました。実際に自分がケアできるようになれるように文献で詳しく方法を調べたり、安全で効果的であることを妊婦さん達に伝えていけるよう勉強していきたいと思います。
- ・ アクティブバースで実際の介助もみられてよかった。今の学生は色々なことを経験できていいなと思った。
- ・ ゲームではプライドを一番に捨て、子どもを捨て、恋人を捨て、仕事を捨てて最後はお金だった。
- ・ 現場の雰囲気を感じました。
- ・ 感覚的には参加型の指導がいいのはよくわかるし、自分が受けるとしてもそういうものの方がうれしいが、実際やろうとする時にとても難しいと思った。

⑩ 妊産婦の多様なニーズに対応するケア

- ・ 多方向から助産師の役割や生～死までの価値観の話が聞けた。
- ・ 助産師として復職するための考え方を学んだ。施設見学、施設研修性の受け入れ施設ができるのを望んでいる。
- ・ 質問の答えの時のお話がよかったです。
- ・ 講師の人生観を楽しく聞け、共感できることが多かった。
- ・ 人生についての色々なお話はためになった。
- ・ 先生のいろいろな経験談が聞けてとても共感できた。自分の存在について改めて考えてみるよい機会をもらった。
- ・ 経験豊で人生そのものを含めて教えていただき、スランプ時の心のもち方、考え方に力を得ました。前向き姿勢で頑張りたいです。
- ・ 個性的でいい話でした。
- ・ 助産師真利という言葉、人間性ということなど考えさせられた。
- ・ 妊娠、出産ということ機関にとらわれず、“人生”というものの話は深く知識を深めるものとなりました。

- ・ 今自分が色々悩んでいること、考えていることに当てはまる事が多く、考え直すよききっかけ、糸口となり、とても有意義なお話でした。ありがとうございました。
- ・ 自分の人生そのものについて考えなおし時間にもなり感謝でいっぱいです。どうぞ御身体お大事になさってください。
- ・ 話の広がりが大きすぎてやや散漫になった気がして。しかし自分の内で深いそこからいつか目を出してくる話だったように感じます。
- ・ 魂が震えるようなお話でした。絵本の「くまの校長先生」にお話をうかがったような思いです。潜在として最後にふさわしい講義でした。助産師をめざしたこと、本当によかったです。
- ・ 助産師としての自分の立場としての自分の気持ちの持ち方、考え方を教えられました。今日ここにいる自分にも何らかの意味があるんだろうと思いました。今後の生き方にこれからの活動にやりがいをもてそうだと感じました。
- ・ 年間 1,000 例の分娩数はすごい。お話も大変面白く、助産師への応援歌のように聞こえ、うれしかったです。ありがとうございました。
- ・ 人生観についての講義、価値観など考える機会を頂きました。素晴らしい施設を使って妊産婦のニーズに応えておられるなあと驚きました。骨盤筋群の強化について（月経日のコントロール等）興味を惹かれました。
- ・ なんだかニコニコ笑えました。なんだか幸せになりました。潜在助産師の時期も楽しめそうです。目からウロコ。
- ・ 毎日の生活のあらゆるところに笑いを。助産・看護のみならず、人性の原点を考えた時間であったと思う。
- ・ お母さんや赤ちゃんのために働けるような、上質な助産師になれるよう努力していかなばと思います。ピンチはチャンスというお話もありましたが、どんな事にも自分を成長させる意味があると思い、前向きに人生を送っていきたいと思います。
- ・ 内容がよかった。本当に自分が一番大、幸せ、そのおすそわけをして共に幸せになっていきたいと思いました。先生のおっしゃる縁を大切にしていきたいです。
- ・ 「自分の人生は自分で決めることができる」という先生の言葉は重かった。楽しいところには人が集まる。産科は人が集まりやすいことが伝わった。感動をもらった。
- ・ 先生のお話の内容は私が日頃考え感じていたことでしたので、涙が出てしまいました。苦しみ後のごほうびは私もいつも子どもたちにいっている言葉です。女性が人生で体験することの多くを（少ないかな）私も体験してしまったかも知れません。でもこの体験がきっと益になると信じています。やりがいのある仕事へと羽ばたきたいです。
- ・ 話は興味深く面白かったのですが、テーマとちょっとはずれたかなという気もします。けれどそれが逆に先生の私達に知ってもらいたい、伝えたいことがあふれていると感じました。
- ・ 自分の行き方も考えて生きたいと思いました。助産師の仕事は改めて素敵な仕事だと思いました。

● その他気づいた点

- ・ 潜在研修とはいえ、現在のケアや妊産婦、ベビーとのかかわりや知識を再確認できる充実したものでした。明日からのケアに生かしていきたいと思います。
- ・ 長い間医療に関する話を聞いたことがないし、講演を長時間座って聞くことも機会がなく、長時間耐えられるかと思いましたが、ども講義も面白く勉強になり、久しぶりに頭を使った気分です。このような勉強の機会を与えて頂いた
- ・ 現在 3 歳、1 歳の子どもがいます。こういった研修会にたくさん出席したいと思いますが、子どもを預けてこないと出席できません。もし一時預かりなどがあればとても助かります。
- ・ すばらしくかつ貴重な講義を受けることができうれしかったです。お忙しい中主催者の皆様お疲れ様です。今後どこかで学んだことを生かしていきたいと思います。
- ・ 子どもたちも少しずつ大きくなり、これからどんな活動をしていくか考えているところです。まずは、色々勉強しなければと思っています。部分参加でしたが、役に立ちました。ありがとうございました。
- ・ どの先生もすばらしい先生であつという間の 3 日間でした。この研修を受けてまた一歩歩みを進めたと思います。仲間と助産所開設に向けて。
- ・ 潜在助産師研修会でたくさんの驚きや感動がありました。助産から離れた人たちのいろいろな話を聞いたり、講師の話の話を聞いたり新鮮でした。地元でしっかり根付いた活動をしていきたいと思いました。
- ・ 参加させていただきありがとうございました。また出席したいです。
- ・ 質問時間が少なかつた。名札があればよかった。3 日間の内容の良い講習会を受けさせて頂きました。
- ・ 多角的な面から再勉強になりました。

- ・ まずは助産所で経験をつみ、いずれは開業したい。来年もこのような研修を計画していただけたら、また参加したいと思います。ありがとうございます。三宅先生の提案されているような研修制度が少しでも増えて自分も参加したいです。
- ・ 正木先生のお話を聞かせていただき、自分自身の生き方について考える機会を得ることができました。技の伝承などの講演を期待しています。
- ・ 新生児の写真資料はカラーでほしいです、(費用は別でいいので)
- ・ 流れがとてもよく、どんどん理解を深めることができました。
- ・ 3日間の研修に参加して、本当によかったです。今は助産師としてのアイデンティティを自分の中に確認している毎日ですが、何かしらの光が差し込んだような気がします。ありがとうございます。山岸様スタッフ一同様お世話になりました。
- ・ 研修の時々香りが出てきてほっとすることがありました。お世話いただいた皆様ありがとうございます。
- ・ 自宅から通える場所で働ければいい。子どもが少し大きくなり、また働きたいと思っているときに、研修のお知らせを頂きとてもありがたかったです。勉強する機会を与えていただき感謝している。
- ・ ありがとうございます。大変刺激になりました。おかげさまで何か行動を起こさないとけないと思うようになりました。
- ・ すべてにおいて満足できる内容で大変よかったです。参加してよかった。

福島会場

① 母子保健の動向と課題

- ・ 国の立場でのプロジェクトへの思いが理解できた。
- ・ 駆け足でしたが、母子保健の課題と助産師にもとめられていることの多さがわかりました。
- ・ 病院や産科の閉鎖(縮小化)、少子化に伴い、助産師として働く場所がなくなってしまうのではないかと不安に思っていました。しかし最新の情報や助産師の継続的支援の大切さを知り、視野が広がり様々な問題や課題に少しでも貢献できたらと前向きに考えることができました。
- ・ 今の動きの基となるものを理解できたが(国単位)、もう少し細かい地域での動きも知りたかった。
- ・ 現場を離れて9年、変化していく母子管理、助産業務。
- ・ 分かり易く最近の傾向や今後必要とされる内容が見えた。
- ・ 動向の背景とその問題点について理解できた。「健やか親子21」の討論会などを実際に実施されている先生のお話を聞くことにより、やっと身近なプランであり、自分にも役割が化せられている事が実感された。
- ・ 現在自分が携わっている事項の方向性が間違っていないという確信をえることができた。質問の時間を設けていただきたかった。
- ・ ブランクの間の変化がよく理解できた。

② 妊産婦のニーズと助産師の役割

- ・ 今現在の状況がもっとあれば、お産サポートジャパンの話がもっとききたかった。助産師会の加入を勧めるものがもっとあればよかった。
- ・ ニーズのアンケートをとり、わかりやすかった。
- ・ 親が子どもをも守れない時代といわれ、毎日のようにニュースで様々な事件が報道されている。研修に来るまでは、なんとなく他人事のように聞いていましたが、その背景には助産師のかかわりが関係していることを忘れていたことに気づかされた。
- ・ 助産師として、専門性を再認識し、ニーズに対応するために何かでき、やるべきか、具体的でわかりやすかった。必要とされていることに喜びと責任を感じた。
- ・ 先生と同じ時期に同じように勧められて、助産師会に入会した。助産師としてPRして地域に密着させた存在になろうと思った。
- ・ 助産師に今求められている事は何かを再確認し、助産師として自分が何かをはじめてもいい、はじめるべきという思いがしてきたため。
- ・ 日本助産師会の存在意義について理解する事ができた。地域の助産師への期待が高い人たちもいるということがわかった。
- ・ ニーズと役割だけでなく、復帰へのエールを頂きました。頑張っていきたいと思います。

③ 母乳と親子関係

- ・ 母子早期接触はなんとなくよいと思っていてもどうしてよいのかはっきりといえないところが今までありました。話を聞いて具体的に分かったし、今まで以上にもっとお母さんと接触させたいと思った。
- ・ カンガルーケアは親子の絆を強くする心のケアだけでなく、分娩直後母親の表皮ブドウ球菌の付着によって最近から新生児を守る事ができることを学びました。
- ・ 赤ちゃんの能力、自然の力の中での自然なお産を動物的な部分を大切にしながらいいお産をし、早期にどう関わっていくかで、母子関係から最近的問題まで影響することから、何をすべきか考える機会となった。
- ・ 色々なことが知る事ができてよかった。
- ・ 細菌学的には見ていなかった部分が見せてもらえてよかった。正常産でもカンガルーケアの必要性がわかってやっていたよかった。家庭訪問で生かしていきたい。
- ・ カンガルーケアの利点を予測もしなかった視点から科学的根拠を示してお話ししてくださり、とても面白かった。
- ・ 母児の関係を細菌学の面から見たところが面白かった。
- ・ とても興味深く面白かったです。それと同時に医師の立場でドゥーラや助産、midwifeへ深い理解を示して下さっている方がいる事がとてもうれしかった。(失礼な書き方、表現ですみません) 復帰後の職場だけでなく、来月出産予定なので、色々試してみます。

④ 最近の産科管理

- ・ ずっと勤務している方がこれほど知っているのだろうか。「なんとなく自然に知っている」という勤務者達がかえって困る気がしました。
- ・ 定義が変わったのは知っていましたが、細かく具体的な内容で、わかりやすかったです。
- ・ 混乱してしまいましたが、復習し理解できるようにしたいと思います。
- ・ 妊娠高血圧症候群とモニタリングの2点にしぼりお話していただきわかりやすかった。
- ・ もっといろいろ聞きたかった。
- ・ 藤森先生のわかりやすい講義がよかった。最近の傾向、観察のポイントがわかったので、伝えたいです。
- ・ 知識としてはモニタリングもPIHについても知っていることだったが、変更された背景についてより詳しく知る事ができた。
- ・ 分娩の現場からは20年離れていましたが、すぐに戻る事ができた。このような勉強会への参加で、知識の更新をすることの大切さを痛感。症例をもっとみたかった。
- ・ ブランクの間の変化がよく理解できた。
- ・ モニタリングだけでなく、妊娠高血圧症候群のことも詳しく講義してくださったので助かった。

⑤ 新生児の観察のポイント 助産所業務ガイドライン

- ・ もっと時間があればほしかったので残念。
- ・ 多くの症例が具体的でわかりやすかった。
- ・ 内容はとてもわかりやすかったです。事例も沢山お話しくださり、ずっと頭の中に入ってきました。それよりも先生の子どもへの思いを聞いた事が何よりもよかったです。涙を流しながら聞きました。
- ・ 新生児の観察ポイントや蘇生について、とても分かり易く学びの多い講義となりました。SIDSや臨床でよく見る一過性多呼吸、MASについて興味があり私個人としては昼時間をけずっても最後まで講義していただきたかったと残念でなりません。また機会がありましたら愛情豊かな熱意あふれる講義を聞きたいと思いました。
- ・ 児に関わるものとしての心がまえ、あり方を改めて示してもらったと思う。ただ、各論を最後まで聞きたかった。
- ・ 時間が足りない。もっといろいろ聞きたかった。
- ・ このように素晴らしい医師もいらっしゃる。その医師に学び出会えただけで感動です。
- ・ 赤ちゃんを診る上で、第一印象を大切に。ちょっとでも変だなと思った時は要注意。母の言葉にもっと耳を傾けよう。
- ・ 症例が多いので私も何例か異常児を取りあげたが、そのフォローができていなかった。現在はダウン症の児の母乳育児に関わっていることを続けようと思った。
- ・ アプガールスコアの付け方の意識が変わった。見たことのない症例のスライドがみられたことと、そのケースに当たった場合の医療者側の受け入れという心の部分について考えられた。
- ・ 概論と一緒に写真つきの疾患の説明もありわかりやすかった。

⑥ 助産師と産科医の連携

- ・ 医者を納得させる手法を教えてもらえた。
- ・ 先生の子、助産師へのまなざしのあたたかさに感動しました。
- ・ 助産師と意志の連携がうまくいっている事例を聞いて大変うらやましく思った。信頼される助産師にならなくてはと思った。
- ・ 自然なお産について考えが少し変わった。病院助産師でありながら、自然なお産を取れるような技術を身につけたいし、そういった環境を作りたいと思う動機付けになった。
- ・ 助産師としての心構えが再認識できた。
- ・ 助産師がその力を発揮するために必要なネットワークづくり。医師から求められていることは何かを知る事ができた。
- ・ 将来的に開業も考えているのでとても参考になりました。プライベートでは、2回流産経験があり、今第2子を妊娠中なので、色々考えさせられました。夫と話してみたいです。流産の時は自然な形を選びお産と同じだと私も思っていました。ただ、来てくれた赤ちゃんを抱きしめられなかったのがくやまれてなりません。抱きしめなかった。
- ・ 病院内でも医師との分娩に関する事で考え方に差があります。正常分娩を扱えるのに・・・と思っていますが、協力し合う事が大切なんだと改めて感じた。

⑦ 今後の活動について（ディスカッション）

- ・ 十分な時間がほしい。遠方の方ばかりであれば、夜の時間も可能だったのでは。
- ・ 他の参加者と交流を持ててよかったです。
- ・ 現在開業している助産師の話がうかがいたかった。
- ・ 臨床にいなくても助産師としてどうにか活動したいという思いを持っている方が多くいらっしゃることを実感し、モチベーションが上がった。
- ・ 色々な経験の方のお話が伺え、とても参考になり勇気付けられました。
- ・ 時間がもう少しほしいと思いました。

⑧ 妊婦の指導（演習を含む）

- ・ 実践的なお話でよかった。演習はなんだったんだろう。
- ・ 自分の今まで行ってきた方法を振り返り、今後やるべきことがわかり行動に移ろうと思います。
- ・ 望んでいた内容と多少のずれがありました。演習と書いてあったので、理論よりも実践を望んでいました。
- ・ 出産前教育の必要性や大切さを学びました。ビデオ鑑賞はとても感動しました。自然分娩のすばらしさを妊産婦さんたちに上手く伝えられない現実がとても残念だと思いました。
- ・ クラス運営、アプローチの方法の具体的なものがわかった。ただ、もっとそのクラスの実施後の評価方法についても学びたかった。（データの取り方や分析方法など）
- ・ 保健指導の方法について参考になる点が沢山あった。
- ・ 自分のやりたい部分のことなのでとても参考になった。
- ・ 具体的企画、運営していくための細かいポイントが理解できました。教材作りも「なければ作る」で色々考えて見たいと思いました。
- ・ 内容が多すぎたのか、時間が足りないのか、早口でよく聞き取れない場面が多かったように思います。

⑨ 妊産婦の指導（演習を含む）

- ・ 実践的なお話でよかった。演習はなんだったんだろう。
- ・ 自分の今まで行ってきた方法を振り返り、今後やるべきことがわかり行動に移ろうと思います。
- ・ 望んでいた内容と多少のずれがありました。演習と書いてあったので、理論よりも実践を望んでいました。
- ・ 母乳哺育に関する指導方法について詳しく聞ければよかった。
- ・ 自分のやりたい部分のことなのでとても参考になった。
- ・ 具体的企画、運営していくための細かいポイントが理解できました。教材作りも「なければ作る」で色々考えて見たいと思いました。

⑩ 妊産婦の多様なニーズに対応する

- ・ 生き方についてゆっくり考えました。

- ・時間が足りないもつとゆっくり話を聴いてみたかった。
- ・生きがいは、やりがいはという「生きる」ことについて聞く事ができて満足しました。今悩んでいることについて背中を「ポン」と押されたような気がします。
- ・沢山共感できる言葉があり、励まされました。
- ・専門はもとより、最終的にはその人の人間性、哲学をもって仕事に望んでおられる素晴らしい。感動。
- ・新しいクリニックのスタイルを知れて面白かった。
- ・生き方について、自分を振り返る機会になった。これからの人生にエールをいただいたように思う。
- ・助産師としてだけでなく、人として、一個人として生きていくことに対し色々考えさせられました。
- ・勇気の出るお話を沢山していただき、感謝しています。母乳育児相談だけでなく、自宅出産に関われるように努力する気持ちになれました。

●その他気づいた点

- ・今回の研修会を通して（岡本先生には申しわけないのですが）開業助産師をフォローできるようなオープンシステムの病院側を構築したいという意志を高めました。
- ・とても素晴らしい内容でした。
- ・今は保育士専門学校で、乳児保育、保育実践を教えている上において考えさせられること、参考になる事が沢山ありました。講義の上に役立てたいと思います。
- ・すべての先生方、講義は勿論、その人間性の素晴らしさに感動しました。素晴らしい先生方に出会えたことだけでも有意義であった。素晴らしい研修をさせていただきました。
- ・潜在助産師のためだけでなく勤務助産師にも聞いていただきたい内容でした。藤森先生の内容は勤めている時お聞きしたかった。
- ・どの講義もとても興味深くもつと聞きたいと思った。参加者が少なかったのが本当に残念です。
- ・3日間ありがとうございました。人脈が広がり助かりました。
- ・全体としてとても素晴らしい先生方、講義内容でした。時間ももつとあればもつとお話を伺えるのに、と毎回毎回思いました。もし、今後就職や活動できたとしても、また受講させていただきたいです。会場も駅から近く便利でよかったです。
- ・もつと多くの助産師に参加してほしいと思いました。潜在助産師対象と思い、希望があつても参加を諦めた方がいますので、そのあたり次回には何か工夫されるとよいと思います。

東京会場

① 母子保健の動向と課題

- ・助産師への期待が色々あることをしりました。私の知らない事が沢山ありこれではいけないと思いました。
- ・現在の動向や母子保健における問題点が分かり易く助産師という立場からその時期にあったアプローチをすることの必要性がわかりました。
- ・母子保健の現状と国として地域としての動向がよく理解できた。
- ・社会的に大きな話題は報道などをとおして情報を得ていたが、具体的な内容を知る事ができたことは有意義でした。中でも助産師への期待の大きさを知り驚いています。
- ・最近の動向についての具体的なお話が聞けて参考になりました。
- ・話の内容も話し方からも母子保健や助産師業務、行政の方々との取り組みに真摯に取り組んで下さっている生の声であることが伝わりました。微力ながら地域で助産師として何か力添えできることがあればと思いました。
- ・母子保健の現状が分かり易く説明されていた。広い範囲にわたり数々の課題がある事が理解できた。
- ・現在の問題点などがよくわかった。
- ・法的根拠のポイントの説明もあり、母子保健の動向が大変わかりやすかった。お話だけでなく、よく整理された資料の提供もあり、今後の活動に活用したいと思う。
- ・母子保健の現状を再確認するとともに、今後の方向性を理解できたと思います。
- ・現在どのような取り組みをしているのか今後どのようにしていくのかなど知る事ができました。
- ・厳しい現状を改めて知る事が出来てよかったです。
- ・講演の前半は一般の方々当たり前に考えていることであるような期がしたため。言葉にすることが難しいということだとは思いますが、後半の一部は自身の知り得なかつた情報があつたのでよかつたと思う。

- ・ 行政から市町村、県、国レベルでの取り組み方など今まで目を向けていなかったことなどを講義で聞いた。助産師としてできる仕事の多さに気づいた。
- ・ 動向と課題を明確に示してくださったので助産師としてだけでなく一国民として今後の課題に取り組んでいかなければと思われました。
- ・ 今助産師という職が社会に求められている事がよくわかりました。女性の一生に役立てるこの仕事に少しずつ目覚めることができた。
- ・ 21世紀の母子保健全体をみていく、その一人一人が私達助産師であることを理解できました。毎日の生活の中で一対一のケアがいかに必要か。「健やか親子21」の2010年までの目標にむかって中間報告をネットを通して教えてほしい。
- ・ 最近の動向がよくわかりました。
- ・ 「健やか親子21」さえも知らず・・・聞くことすべて新鮮でした。
- ・ 現状の行政が提示され、データなど参考になり助産師としての期待や活躍の場の広さを再認識できたから。ただ、自分自身のモチベーションを高めるのは難しいなどと思った。
- ・ 行政の動向がわかりました。「健やか親子21」の運動や全国的に様々な団体が参加している現状とても心強く感じました。
- ・ 行政サイドからの視点にたち、母子保健をみつめる事ができ今求められているもの、母子保健の流れを確認することができた。
- ・ 難しいところもありましたが、現代社会の中での助産師の動向を知るのに大切な内容だった。
- ・ 現在の日本の母子保健の現状について理解できた。またその中での助産師の役割を考えることができた。
- ・ 現在の情報が得られた。
- ・ 行政の方針が詳しくわかってよかった。助産師の活躍の場としてこんな行政の場もあるのかと思った。
- ・ 現状については詳しく聞けたが、実際にどういうところで業務が求められているか、もっと聞きたかった。
- ・ 最近の動向について学ぶ事ができてよかったです。
- ・ 社会全体の流れが分かってよかったです。育児と家事に追われて新聞や本を読む時間がとれていないので、社会の流れや現状がわかっていなかったのも、お話を聞いてとてもよかったです。
- ・ 久しく現場を離れているのでよい勉強になりました。
- ・ 今母子保健に関してどのように動いているか知識を深める事ができました。健やか親子21を含め。
- ・ 「健やか親子21」についてよく理解できました。2006年折り返しの年、どうなってゆくのでしょうか。

② 妊産婦のニーズと助産師の役割

- ・ 助産師に対するニーズを知りました。自分にできることを見つけたいです。
- ・ 10年前の調査で助産師に求められていたものから、現在実現されていることもあればまだまだ改善していける問題点があることがわかりました。助産師の知名度の低さにも驚きました。
- ・ 妊産婦のニーズ、助産師の意欲があっても実際に仕事ができる場が少ない現状です。助産師の社会への働きかけも必要と思いますが、行政ももっと積極的に私達が活動できる場を作ってほしいと思います。
- ・ 一生を通しての母性のケアについての必要性を感じました。
- ・ 女性の一生に関わる助産師って、本当にすばらしいと再認識しました。
- ・ 助産師の世界の動き（イギリス）や日本での変化は変化参考になりました。助産師へのニーズの調査は10年前のデータで古すぎると感じました。
- ・ 実際助産診断がきちんとでき、活躍できる人材を育てるにはと専攻科や学生を送り出す立場の方が厳しい姿勢を示して下さって、とても嬉しかったです。しっかりと学びまた私達のようにブランクのある人間までフォローして下さり、こちらも期待に応えうように個々にしっかりしたいと思いました。
- ・ 小田切先生の助産師に対する熱い思いが伝わってきた。現状では助産師が妊産婦のニーズに対してまだ十分なケアが行われていない。これからの活動を助産師全体で盛り上げていかなければと感じた。
- ・ 助産師に求められているニーズを考えさせられた。
- ・ テーマの内容と先生の行った調査に基づき、説明していただき分かり易かったが、時間配分を考えてほしかった。なぜなら後半の内容が大まかになったように思えました。
- ・ お産全般について過去、現在、これからの課題を具体的に説明してくださいましたので、体で感じとり今の自分の存在を再認識する事が出来ました。
- ・ 助産師に求められているものは何かなど知る事ができた。
- ・ 早く助産師として働きたいとより一層思えました。

- ・ 助産師に対する期待などは10年前のデータでもあまり変わっていないのだなと思った。自身、妊娠出産などまだ経験していない事が多く、経験することで変化がおこるのかわくわく感があった。
- ・ 学生指導されているので、講義が分かり易かった。プロとしての厳しさも考えられて刺激になりました。機会があればお役に立ちたいと思います。
- ・ 研究結果に加えご自身の体験なども交えて講義していただいたので、わかりやすかったです。
- ・ 助産師の知名度が低いとは聴いていたのですが、自分の仕事を声を大にして世間に知らせないと、と思っています。
- ・ 地域の若いお母様方子ども達(0歳、1歳、2歳、3歳、4歳)を預けて半日でも講習を受けたり、子育てについての悩みを聞いてくれる指導者を探しています。10年後の妊産婦のニーズについて研究を期待します。
- ・ 助産師としてのあり方を考えさせられました。
- ・ 産後の人でも助産師を知らない人がいる、というデータはショックですね。助産師の存在をもっと世にアピールしなくてはならないという危機感を感じましたし、産む人のニーズの高さ、それに応えなければならないという責任を感じました。
- ・ 助産師に何を期待するか、というアンケートはとても興味深かったです。経済的にも比較してあり、現在求められている「個人のニーズに対応した継続的なケア」やもっと地域に出て活動してほしいということがよくわかりました。病院での再就職を考えていますが、お産をとるだけでなくもっと広く関われる職場も探してみたいと思いました。
- ・ アンケートの内容が10年前のものだったので新しいデータが知りたい。今のネット社会では10年前とではかなり違っているのではと思う。
- ・ 助産師学生の現状や海外の情報などもあり興味深かった。
- ・ 働く女性は素敵だと思えるような先生でした。助産師が求められている現状が理解できました。
- ・ 助産師教育の熱意が伝わった。
- ・ 概論でしょうか。
- ・ 助産師としてのあり方を考えさせられました。働きたいと希望する場合、どのようにアプローチして就業できるか聞きたかった。
- ・ マイクの音が小さいように感じました。
- ・ 数年後、社会復帰を考えていますので、社会のニーズと働く場所の状況がわかりとても参考になりました。
- ・ 妊産婦のニーズをアンケートから知る事ができ、今後役に立ていけると感じました。
- ・ 講師の熱意あふれるお話、10年前の調査をベースにしていたので少し物足りませんでしたが、復習した気分。一昨年まで現職(看護職として)助産師としてはくたびれています。私も日看協で1990年代受け持ち制母子看護を推進した1人です。

③ 母乳と親子関係

- ・ カンガルーケアに大変興味を持ちました。
- ・ 母子関係も昔と大きく変わっていることを感じます。
- ・ 母性意識の変化や出産後早期に母と子が触れ合う事の大切さ、母乳育児を支援する上での過関わり方などを学ぶ事ができました。
- ・ 実際の自分の育児についても考えさせられたり、頷けることが多々あり、楽しく受講できました。
- ・ 子育て親子関係について改めて考えさせられました。
- ・ 出産後は母親と子どもは一緒にいるのが当たり前。母乳で育てると言うのも当たり前。その当たり前の事ができていない現状は本当に問題だと感じました。やはり人間が持っている自然の姿に戻り、その力を発揮させるような援助の必要性を感じました。
- ・ 楽しいお話でした。頂いた資料再読したいです。
- ・ 母乳栄養としてとらえず母乳育児(栄養、スキンシップ、免疫)としてゆったりととらえることや、育児不安でなく、不思議感としてとらえ直感に基づく育児をしていくことが“人間”として哺乳動物として、生物動物のレベルの神秘をかみしめて泌乳できる数年を援助したいと思いました。
- ・ とても楽しく学べた。今、子育てしかできなくて、仕事に戻れないでいる自分がとても惨めに思うことがあるが、今しかできない子育てを心から楽しもうと思えた。
- ・ 母子の関わり方の大切さを改めて感じた。

- ・カンガルーケアを全国的に広められた先生に直接お話しが聞けて、大変嬉しく思いました。育児愛に満ち、その根拠のお話を聞きながら現職時代を思い出しても充実した時間でした。感銘したお話しでした。パワーポイントの資料が手元にあったらよかった。
- ・勤務していたころの自分の考えていた事が基本的にはよかったと再確認できたこと。現状が理解できた。
- ・助産を生涯続けた母親の姿勢が鮮明に映し出され、勉強になりました。
- ・自分の子育ての前に聞いておけば育児を他あの占めたのではないかと思える興味深い内容でした。
- ・楽しく講義を聞く事ができました。
- ・テーマからどのような講義の展開になるのかと思っていたけれど軽妙かつ端的に進行して行って、スムーズに頭に入っていった。どうしたら先生のようにプレゼンテーションができるのかなと思いつながりながら聞いていました。
- ・小児科医の視点からみた母乳育児、直感に基づく育児など興味深く聴講しました。ユーモアも沢山取り入れて下さって、楽しくあっという間に時間が過ぎました。
- ・産科医はお母さんと赤ちゃん2人と長い間関わっているにも関わらず救命第1みたいなところがあります。先生にお母さんにも赤ちゃんにも愛情をもって関わっていられると印象を池、とても共感できました。お話を興味深く、なるほどと関心させられるところが多かったです。
- ・親子関係は過去、現在、未来を通して家族関係が大切になっていきます。先生のご家族のお話を交えて育児は母乳からということを知り易くお話し下さった。
- ・ユーモアを交えて分かり易く講義していただきました。女性という性のすばらしさ、子どもを生み育てることの素晴らしさをあらためて実感しました。
- ・カンガルーケアさえ知りませんでした。
- ・話している内容とスライドとテキストに書いている内容が違った。ジョークも交えて楽しいお話でした。
- ・「専門職は無意識を言語化する役割がある」それに対して本当に納得。主観と客観の世界。納得を導くには主観が大切だと思うことは参考になりました。先生の話は楽しくあっという間の時間でした。
- ・妊娠、出産、産褥に関わることの大切さを思い出しました。授乳はドラマチックです。個々を乗り越えられるように援助する事はとても大切です。産後2ヶ月以降も援助してミルクにならないように気をつけなくてはと思います。カンガルーケアがどんどん広まるといいなと思いました。
- ・何よりも先生のお人柄、母と子をサポートするという優しいお気持ちに感動しました。新生児訪問の時に母さんに伝えてあげたいお話し、言葉をいっぱい聞かせていただきました。
- ・ユーモアのある講義で、楽しく学べました。以前に講義を受けた事がありますが、何度聞いてもいいと思いました。
- ・こんなに女性、助産師に理解ある医師がいることを嬉しく思いました。改めておっぱいの素晴らしさを感じる事ができました。
- ・学問を超越したすばらしい講義だった。
- ・母乳の奥に含まれるいろいろな背景を知る事ができ、大変参考になりました。
- ・母子ともに優しく安全な分娩をして、カンガルーケアの大切さが母乳育児に繋がっていく事がわかりました。
- ・自分が現在母乳育児中ということもあり、助産師としては勿論母親としてお話を聞く事が出来とてもよかったです。
- ・楽しいお話でとても集中して聞かせていただきました。動物としての人間、人間として大切な精神部分を見直しさせていただきました。
- ・とても興味の引く内容でした。
- ・久しぶりに先生のお話を伺いました。「カンガルーケア」以来、昔聖医大病院NICUで一緒に働きました先生が62歳、孫もいらっしゃる、ますますお話しすばらしくなり内容に感動、参加してうれしかったです。お会いできてよかったです。

④ 最近の産科管理

- ・子宮内発育不全や妊娠高血圧症候群など働いていたころと変わったことなど勉強になりました。
- ・資料もいただけてとても興味部会テーマだったのですが、時間の制約があるのか、展開が早かったのが残念でした。院内助産院の開院について動き始めている現状ですが、行政や他施設との連携が難しく実現できるまでは時間がかかりそうです。分娩施設が少なくなっている今、早急に対応していかななくてはならない問題とっています。現在はなれていると最近の情報に接する機会が少ない中でとても新鮮でした。
- ・周産期医療の大切さ、診断、判断基準について丁寧に講演いただいたのですが、頭がついていくのが大変でした。

- ・用語や内容の改正などの情報を得られてよかったです。現在分かってきた疾患の原因や病態生理など理解できました。
- ・早産の事が参考になりました。
- ・絨毛羊膜炎の話し、妊娠高血圧症候群など現在の産科学的な病名、また進歩を教えていただきとても勉強になりました。それにともない塩分摂取の仕方や早産に対す援助の仕方など対応を改めなければと思いました。
- ・最近の産科管理。このような講義はこれからも定期的に受けようと思う。
- ・この数年で医学の変化の一端を知り、本日の産科は今後の仕事への足がかりになります。内容の充実感と先生の熱意がひしひしと伝わってきました。
- ・周産期医療に貢献される先生の思いが伝わってきました。働いていたころには分からなかった疾患の原因が理解できたり、現状の理解が出来た事。
- ・現場で働く周産期医療を担うマンパワー不足の状況を具体的に講義してくださいました。母体搬送のタイミングがいかに大切であるか、強く心に残り学習、連携の大切さを再度学びました。
- ・現在の医療の現場を知るとともに助産師能力の向上に努めなければと身の引き締まるような内容でした。
- ・ポイントがとてもわかりやすかったです。
- ・今までの復習になった。エコー所見がよかった。知らなかったことが知れてよかった。
- ・開業されて忙しい身の上にも関わらず、昼夜真剣に産科医療に取り組んで折られる姿勢をひしひしと感じました。こんな医師の下で仕事できる助産師は幸せですね。
- ・ハイリスク妊娠、分娩について細かく教えていただき、再学習する事ができました。産科の臨床をはなれ、学習する機会もなかなかなく、妊娠中毒症という言葉が変わったこと知りませんでした。資料はわかりやすく、ポイントがしっかり記載されており今後復習する際に役立っていきたいと思います。やはり厳しい現場だなと思います。
- ・最近の産科管理は受講しなければ理解できない部分が沢山あり、大いに学びました。資料を無駄にしないよう生かしていきたい。
- ・以前と変わってきている病名や考え方など新しい知識ができました。わかりやすくてよい勉強になりました。
- ・今何処を話しているのか資料にマーキングするのが忙しかった。
- ・新しい用語、新知識になり勉強になりました。資料が細かく説明記載されているので、ボリューム満点でしっかり熟読しようと思います。
- ・分娩に関わるリスクやデータの見方などが分かってよかったです。「何かおかしい」と感じたら次の医療機関に紹介したらよいとわかり安心しました。
- ・植野先生のところで働けるものなら働きたいと思う内容でした。
- ・むかし、胎児死亡例で常位胎盤早期剥離などどうしてと思っていたことが最近解明できたというのは嬉しい事です。
- ・最新情報が沢山あり、勉強になりました。家庭内、施設内にこもりがちでも外に出て勉強する事は重要だなと思いました。
- ・素晴らしいガイドラインがいただけでラッキーでした。これに基づいてもう一度一つ一つ勉強しようと思いました。
- ・誤解を招く用語が改まったり予防医学の取り組み、現状を知る事ができた。
- ・貴重な資料も追加でいただき話の内容一つも聞き漏らせない重要なお話しでした。
- ・最新の知識について学ぶ事ができました。診断名の変化や搬送のタイミングなどを学ぶ事ができました。
- ・少し離れただけで、だいぶ管理が変わっていた事に驚くとともに大変勉強になりました。
- ・現場を離れて約10年になります。診断用語の変更や機械の機能の向上に驚き教えていただけてとても助かりました。
- ・久しぶりに現場に戻ったようなきがしてよい勉強になりました。
- ・今後勤務する上でとても重要な産科管理の内容の勉強をすることができました。もっと詳しく学びたかったです。
- ・出席申し込みの理由にこのテーマに感心があったからです。用語一つにしても最新の考え方がわかり、勉強になりました。終日勉強してあまり疲れを感じなかったので少し体力に自信がもてました。難しいお話ですが大事さがわかりました。

⑤ 新生児の観察のポイント 助産所業務ガイドラインについて

- ・忘れていたことや新しいことを教えていただき、大変ためになりました。新生児訪問先で初めて知り、調べた病気も今回教えていただきよかったです。

- 新生児の観察のポイントがとてもわかりやすかったです。自分自身、新生児ケアに対し不安があったのですが、もっと学びたいと思いました。
- 細かくポイントを教えていただきました。講師の先生の熱意に圧倒されそうでしたが、とても分かり易く受講できました。
- 具体例を基に詳しく講演していただきその場では感動し、理解していたのですが、どのくらい身についたかは、疑問です。Not doing well の勘が育つことを願っています。
- よく理解する事ができました。基本的な事項もきちんと理論立てて説明していただき楽しかったです。
- スライド恐かったけど参考になりました。難しくて珍しい症例を紹介して下さってよかったです。
- 非常に情熱的でハートフルな素晴らしい新生児小児科の先生でした。“やるはでないか”の助産師を目指して私達一人一人が少数精鋭の信頼にたる存在に慣れたら素晴らしいなあと思いました。Not doing well をみられる助産師に、そして母親達がそうなれるよう援助していきたいです。
- 臨床ですぐに役立つ観察ポイントを的確に講義してくれた。また先生の小児医療への熱い思い熱意を感じてジーンと心に響いた。
- とてもわかりやすくよかったです。目に見える講義はいいですね。
- 症例を示しながらポイントを押さえた先生のお話は時間を忘れさせるくらい内容が充実していました。先生の熱い思いがしみこんでいくようでした。
- どちらかというと新生児看護は苦手でしたが、観察ポイントとその重要性がわかりました。資料がわかりやすかった。
- 実例を通して講義してくださいました。非常に、理解し易かったです。新生児の観察ポイント大切さ、私は観察は医療の原点だと思った在職中は観察で始まり観察で終わると口癖でした。
- 観察力の大切さを改めて知る事が出来ました。
- 小児科にいたことがあったので、いろいろと納得することができました。
- 診療所と総合病院との差、小児科医と産科医との認識の差がわかった。また病院にあった物品の意味の裏づけができた。復習というよりは勉強不測の点がわかってよかった。
- 声も大きくポイントを押さえて、説得力もあって、講義が上手だと思いました。症例も多数教えていただけ喜んでます。
- とても興味深かった。上田先生と一緒に働きたいと思うくらいでした。小児にとっても情深く接していると感じられた。どういうところを観察すればよいかがよくわかりやすかった。
- 以前産科にいた際は大学病院だったので、ハイリスクな児を診る機会が多くあったので、昔を思い出しながら聞かせていただきました。「直感」を養っていかなければと感じました。大学病院に胎児治療を専門としていた医師が2人いたので、その時代にもっと色々なことを学んでおけばよかったと今更ながらに思います。疾患だけの説明だけでなく、お母さん、赤ちゃんの結びつき、関わりについてもお話を頂いたが、今後役に立てて言いたいと思います。
- ベビーの観察のポイントがわかって、是非役立てたいです。
- 熱心に新生児の事例を取り入れ具体的に説明して下さった。
- とてもインパクトのアル講義であったという間に終わりました。生命を取り扱う職業だけに悲しい症例ではとても心を打たれました。基本的なことから重要なところまで勉強になりよかったです。
- 豊富な実例写真を交えた講義でかつわかりやすい説明で頭に入りやすかったです。
- 出産時の一番ドラマティックで緊急的な対応について沢山教えていただき、よかったです。忘れかけていたことをやっと思い出しました。お産は怖い面もあるということをも思い出しました。アプガールスコア、1分後だけでなく5分後その後も見て行きたいと思います。
- 遠くから来ていただきありがとうございます。ポイントを押さえてのご指導よく理解できました。資料も色々載せていただきとても勉強になりました。
- 異常の早期発見が必要と思いました。
- 観察の大切さ、その子その子における not doing well をみのがさないこと。改めて身の引き締まる思いがしました。
- 分かり易く、実際に心拍の数え方など指導して下さった。元気な講義でした。
- 助産師学校の新生児の授業を思い出しました。半日の講義で簡潔でわかりやすくまとまっていたよかったです。先生の熱血ぶりに嬉しくなりました。
- 「まずはこれがわかれば大丈夫」という出生時のチェックを考えていただけよかったです。

- ・ 先生の豊かな経験を通して助産師の実技レベル、対処法を学ぶ事ができた。予防は治療に優る。(直観力が大事) 早期発見、早期治療は後遺症をなくす。学習する、経験をつむ、限らない愛と優しい思い出観察する事の大切さなど先生の思いが伝わった。
- ・ 貴重なスライド(事例の)大変勉強になりました。講義もわかりやすかった。
- ・ 話が具体的でとてもわかりやすかった。実際にどのようにし観察し、実施すればよいか本当によくわかった。
- ・ 異常の事がボリュームが多かったです。健康な児のポイントがもう少しあったほうがよかったです。
- ・ とてもわかりやすく視覚的にもとても勉強になりました。
- ・ 色々な症例の見方、ポイントを役立てやすくお話していただきありがたかった。
- ・ とてもよい勉強になりました。

⑥ 助産師と産科医の連携

- ・ オープンシステムや蝉オープンシステムについてよく知りませんでした。
- ・ 助産師が正常、異常の判断をしっかりと行えるように学ぶ事は大切だと思いました。産科医と今後どのように連携していったらよいのかということをもっと聞きたかった。
- ・ 安全の中で妊産婦のニーズを可能な限り受け入れ、自立していけるように関わっていく必要があると思います。医師、スタッフがそれぞれの役割をはたしながらチームでケアしていく事の重要性を感じています。
- ・ 助産師としての技術、知識、意識の必要性を再確認させていただきました。
- ・ 助産師と産科医のよりよい連携が母子のニーズに応えるためには本当に大切だと感じましたが、しかし、そのためには産科医と対等に話ができればならないので助産師は常に向上心を持つ事が大切。
- ・ 日赤医療センターの具体的なお話参考になりました。是非報告会にうかがいたいです。
- ・ このような産婦人科の先生の下で異常をフォローしてくださるならばオープンシステムを活用して、“正常な出産はお任せ下さい”とって頑張れるのにと思いました。参加の開業の先生が准看護師の方に内診などさせないですむよう、診療所で乳房や育児のフォローができるようになり診療所の質も上がればよいと思いました。
- ・ 助産師と産科医はこれから新しい関係を築いていく時代なんだと思った。安全第一、快適性は二の次という医師たちの考えを変化させるのも助産師の努力次第なんだなと思う。
- ・ 連携の大切さを改めて考えさせられました。
- ・ 21世紀の私達がお母さん、お父さん、赤ちゃんへの支援の先生の貴重なお話を聞き、一步前進できる様に思いました。先生のお考えにも感動しました。
- ・ 資料は分かり易かったが、現場の話も聞きたかった。オープンシステムについては興味があります。
- ・ 先生から産科医療の考え方、出産に対する教育法、得に医師の教育の重要性を話され共感しました。杉本先生のお考えを一人一人医師が持ってほしいと切実に思いました。
- ・ オープンシステムなど、自分が勤務していたころとは違う今の現場について知る事ができました。
- ・ 休みがとれれば2月の報告会にも参加したかったです。
- ・ 端的かつ明快な講義だったのでスムーズに頭に入り復習できました。
- ・ 助産師と産科医のよりよい連携、チーム診療のところで具体的にどのように助産師に指導されているのかシステムもお聴きしたかった。
- ・ 院内助産所まで出来ている理由がよくわかった。またとても院内助産院に興味を持って話を聞いた。
- ・ 話が単調だったので、少し聞きづらかったように思います。ローリスク、ハイリスクの判別をすごく大切だと思いますが、せっかくだったら、オープンシステムの話などをじっくり聞きたいと思いました。
- ・ 産婦さんがいいお産ができて、働く助産師、産科医が働きやすい体制にしていく必要があると思いました。
- ・ 助産師をよく知っていらっしゃる産科医はまず安全がなければ快適もありえない。家族の健康を考えながら支援をするには産科医、助産師共に協力しあいながら対応する事が必要である。
- ・ 産科医と助産師との連携について日本赤十字社医療センターで実施されているところやルーティーンケアについての考え方など勉強になりました。
- ・ 助産師(得に開業)と産科医との連携の重要性はわかりましたが、現実的にどうして行けばよいのかなど、難しいなと思いました。
- ・ オープンシステム、セミオープンシステムによる協力体制というのは開業する上でとても心強いと思いました。出産は安全というイメージや望む出産スタイルにどう対応していくのか、安全だけれど満足のいくお産というのが課題だと難しく感じました。

- ・ 助産師と散会の連携が大切だということがわかりました。先生のように理解ある産科医がもっと増えることに期待したいです。オープンシステム、セミオープンシステムなどが取り入れられるようになり、とても活気的なことだと思います。助産師の向上のためにもお力をお貸し下さい。
- ・ 事例を通してのお話をもっとあったらよいとおもいました。
- ・ オープンシステム、セミオープンシステムに関し、日赤でモデル事業に取り組まれていることをはじめてしました。2月19日時間が取れれば伺いたいと思います。
- ・ 厚生省のモデル事業についても知る事ができたのでよかったです。
- ・ オープンシステムなど新しい形態の産科医療について知る事ができてよかったです。
- ・ 母親の感激、喜びを尊重した女性に優しい出産への取り組みの現状を知り、トップの医師が望ましい方向へ導いてくださることうれしい限りだとおもった。
- ・ 内容が概論的でつまらなかった。
- ・ 実際にどのように連携しているか日赤病院での具体的な方法等もう少し聞いてみたかった。
- ・ 産科医療の現状がよくわかりました。オープンシステム、セミオープンシステムのこれからの見通しが明るくなることを考えていけたらなあと思います。
- ・ 現在の連携状況がよくわかりました。10年前ころから病院の中で家庭のようなあたたかな出産をとという動きが今現実になりつつある事がわかりました。

⑦ 今後の活動について (ディスカッション)

- ・ 皆さんのお話をお聞きし、共鳴もし刺激も受けました。
- ・ 色々な人の意見が聞けてよかったです。
- ・ 潜在ということで抱える問題が不安を話し合うことで自分だけじゃないことを感じました。テーマが多かったのもう少しテーマを絞って話し合えたらもっとみんなで共感できたかなと思いました。
- ・ 遠方より助産師として働きたいという希望をもち受講している方々の意見を聞けたり、経験してきたことをアドバイスできたりしたこと。
- ・ 参加者同士のいろいろな経験を交えてのディスカッションは楽しかったです。
- ・ 助産師への熱いエールに感動しました。研修を受けている人の今までの歴史を聞き、楽しかったです。
- ・ 様々な事情があり、職歴も年齢も様々な方が同じ助産師職としてあつまり、意見交換できたことは、皆働く気持ちがあるのだと思え、勇気が出ました。女性であるというハンディとも特性と思えるよう、性の根本はやはり出産、母乳、育児の問題が沢山あります。どのような仕事でもブランクが10年前後あっても大丈夫。また、ブランクを作りたくない人にはそのようにどちらもO・Kとなれば子育ての中心を担う母性も父性に不満をいだかずにすむかもなど思いました。
- ・ 仕事にもどれなくて、惨めな思いをしていることや、またもし仕事にでて子どもに淋しい思いをさせたくないと言う事が私達だけでなく、皆さん感じているとわかり、ほっとした。どんなに長く仕事から離れていても皆さん助産師への熱い思いを頂いてうれしい。私も早く少しずつでも復帰したいと感じた。
- ・ 一緒に参加した方々と色々な話ができてよかったです。先生お若い。
- ・ 参加者の方々の助産師業務への思いが聞けて心強く思いました。お互いに自分で今できることから始めようと確認しあった時間でした。
- ・ 自分の気持ちを再確認でき、今回をステップにしたいと更に思うことができた。
- ・ 色々な方たちとのコミュニケーションを通して学ぶ事が出来た。他の参加者の方との交流がもてた。
- ・ いろんな年齢層の方々と話し合え、貴重な時間でした。
- ・ グループメンバーの情報から職場の環境、人間関係が大事だと共感しました。若い人にどんどん助産の現場で活躍していただきたい。
- ・ 今後の不安とか心配な人がこんなにいる色々な考えがあったり不安があるんだと思う。とても有意義にグループワークだった。
- ・ 色々な立場の方の話が聞け、自分と同じような不安を抱えている人もいて、すごく心強く思いました。また研修や働く場所などの情報提供もしていただけたり、開業されている方に質問できたりして、有意義な時間が過ごせました。
- ・ 皆同じような心情でいることがわかって安心感もてました。でもこれから自分なりの努力をして何かしら地域に役立てて行きたいと思います。

- ・ 早退してしまったのですが、それぞれが色々な理由の中、潜在していることがわかり、潜在している人が表舞台にでてくるのはパワーがいることだったり勇気がいる事なのだなと思い、お互い頑張りましょうと心の中で同感しました。
- ・ 参加者の一人一人の状況や経験など聞けてとても参考になりました。まず助産師会に入りネットワークを広げたいこうと思いました。復帰する時分娩はしたいけれどブランクがあり怖い。どういう形で第一歩を踏み出したら良いかはまだ悩みです。
- ・ お互いの近況が聞けてそれぞれの助産師への思いが深く元気付けられました。
- ・ グループワークで話をしたりすることで情報交換できたり、共鳴できたりするのでよかった。
- ・ グループワークがあまり効果的でなかった。背景が違いすぎて話がまとまらなかった。
- ・ 色々な方とお話できたことはよかったのですが、盛り上がりすぎてテーマについて話せなかったので、この時間の価値としては残念でした。
- ・ 色々な人の現状や気持ちが聞け、また自分の現状も話せて共感できる話ができとても心が安らぎました。
- ・ 開業するまでの経過を話していただきパワーをいただきました。

⑧ 妊婦の指導 (演習を含む)

- ・ 先生のお話をお聞きし、自分にあった仕事、職場があるんだなと勇気付けられました。
- ・ 病院では学べないことでよかった。
- ・ 先生の経験されたことを聞く事ができ、助産師はいろいろな方法で妊産婦さんたちとかかわれるのだと知りました。一方的にケアするのではなくお互いに吸収しあえる関係は素晴らしいと思います。
- ・ 心を込めて妊産婦編関わる事で助産師として学びも多く、ステップアップのためのフィードバックもあると思う。
- ・ 体験を基にした講義でとても興味深く聞かせていただきましたが、演習の時間がもう少しあればと感じました。
- ・ マッサージの演習では非常に気持ちよかったです。すぐにでも活用できると思います。先生の開業までのお話をお聞きして「今までのあなたたちでよかったですよ」と言われた感じがしてうれしかったです。これから助産師として復帰しようという気持ちがより大きくなりました。
- ・ 具体的なケア参考になりました。先生の開業までのお話も興味深かったです。
- ・ 助産師の仕事は生きがいになるんだな、助産師を目指していたころの自分を思い出した。
- ・ 色々な助産師としての働き方のヒントをいただきました。マッサージも気持ちよかったです。
- ・ 体験のお話の中に先生の助産師に対する指導とも言えるものを感じました。復帰への後押しされた感じがしました。助産師活動の幅の広さと生きがい、心を込めた援助の素晴らしさ、そしてツボ療法の紹介と実演も印象に残りました。
- ・ 助産師としてありとあらゆるアンテナを張り巡らし1人の妊婦さんを思い、信念を持って生き生きと活動している姿がとても刺激になりました。助産師のあり方で今までの枠を取っ払い専門性を大いに生かし、活動できるんだなあと思いました。
- ・ 助産師 (開業) の動機、経過を具体的に話してくださいましたことに共感し、力強くプロとして歩んでいる姿に感動しました。
- ・ 助産師の活躍の場がいろいろとあることを知る事ができよかった。マッサージの実技が楽しかった。
- ・ おっぱいから、新生児訪問から始めてもよいこと、そういう気持ちになりました。またツボについてとても気持ちよかったです。他にもどんなツボがあるのか興味を持ちました。
- ・ 優しい講義だった。
- ・ 適切で、的を得たアドバイスと実際に興味深く聞けました。開業のテクニック、妊産婦さんへの接し方のテクニックも楽しく学びました。
- ・ 思いやりをもって一人一人じっくりかかわっていく愛情をもって一つ一つ丁寧に接する必要性を再認識し、また復帰したいなという気持ちをもてました。
- ・ 実際に妊婦さんに対するマッサージ等体験することができ、知識だけでなく技術面のことも少しですができたのでよかったです。もっといろんな演習をしていただきたいかったです。
- ・ マッサージ演習して楽しいな、気持ちいいなと思いました。妊婦さんと信頼関係を持つにはスキンシップが大切だと感じました。助産院で実施している臍帯のプレゼントいいなあ。手をかけるって大切だと思いました。
- ・ 産婆の技を確認し合えた。ご自分の体験から今現在のご活躍までスライドを通してご紹介して下さった。子育てをしながら働く事の厳しさ、健康であれば途中少し休みを取ればまた元気になり自分を発揮できることがよくわかった。唯一人では何もできない。チームを組む事、おしみなく足を運ぶこと、そして受け入れる心があればお母さんも安心でしょう。

- ・ 実演を伴った講義でとても勉強になりました。素晴らしい助産院の先生だなあと思いました。
- ・ 先生の助産院立ち上げのころの話が聞いて参考になった。
- ・ 開業するに当たっての体験談はとてどれをとってもためになる事ばかりでした。働く場は探せばいくらでもある。作っていけるということと力をもらいました。
- ・ 開業の経験から現在前のご活躍の様子を具体的にお話ししていただきありがとうございました。まず自分にできることから考えてみようと思います。若さと頭のよさがやはり必要ですね。
- ・ 初めて母親になると色々な不安なこともあると思います。そこで出会う助産師の一言が生きる力になると思います。
- ・ 助産師の働き方の可能性を事例を示してもらいとても嬉しく思った。自分のできることを考えて行きたいと思った。アイデアの大切さがよくわかった。
- ・ 地域で少しでも関われる事が少し自信がもてました。ツボ、マッサージの実習ができ、たいそれとマッサージ習得でなく、気軽に出来よかった。(スキンシップ)
- ・ 話がとても身近に感じられて自分も頑張ってみようかなと思いました。
- ・ 助産師のやるべき事はこれなんだ、助産師っていろんな方法で仕事できる。こんなことからはじめられる助産師になってよかったと気持ちが前向きになれる話だったから。
- ・ 自分でも何かできるのではないかという気にさせてもらいました。このまま埋もれていくわけにはいかないと思いました。
- ・ 実際に役立つ母親に喜ばれる助産業務を学ぶ事ができた。
- ・ 山本さんの経緯(助産所開設まで)も面白かったが時間配分として後半の実技をもっと聞きたかった。
- ・ とても気持ちが前向きになる話であった。とりあえず一歩踏み出そうと感じた。
- ・ 病院との連携、コラボレーションについてよくわかりました。
- ・ ご自身の経験をふまえて話してくださり、助産師の活動の場は色々あるのだという事がよくわかりました。
- ・ 助産師として働きやすい職場を開発されたお話に感激しました。
こんなにからだを触れてもらえる事がリラックス、落ち着くなんて…、感動しました。役立てたいと思います。

⑨ 産婦褥婦の指導(演習を含む)

- ・ 全身マッサージはとても気持ちがよかったです。
- ・ 色々知らないことを教えていただけて楽しかった。
- ・ 実際に助産院でケアされている内容をもっとお聞きしたかったです。
- ・ 先生の生きた実践活動を体全体で受け止める事ができました。
- ・ マッサージがとても気持ちよく妊産婦さんの継続的なケア、関わりの重要性、大切さがよくわかりました。助産師の人間性についても勉強になりました。
- ・ ツボ、マッサージ、少しの時間でも気持ちよかったので、これを疲れた妊産婦さんに行ったらそれだけで心の通える仲に近づくだらうなと思いました。
- ・ ツボ、マッサージなど今家にいるだけでなくどんどん勉強していかなければと思いました。研修に参加しなくてはと思いました。
- ・ もう少し演習の時間がほしかったと思います。
- ・ 演習を含めもっと時間があつたらよかったです。
- ・ レジュメの内容とと思いましたので、やや残念でした。この内容の山本先生の話お話を聞きたい。健診時にマッサージをしながら話をし、信頼関係を築くと共に体のアセスメントをしていく方法は有効だと思いました。
- ・ アイデア工夫で産婦に喜ばれる実践、取り組み、医療機関との連携、助産師として心構えなど参考になった。
- ・ 実習もあり早速実施できることを教えていただいたので、実践したいと思います。
- ・ すぐに使えるツボやマッサージ等具体的でわかりやすいと感じました。
- ・ フリースタイルの介助法や乳房マッサージの実際があつたらよかったです。

⑩ 妊産婦の多様なニーズに対応するケア

- ・ 神津さんのお話も聞いてよかったです。助産師は素晴らしい職業だと再確認しました。残りの人生を有意義に送れるよう考えて見たいと思います。
- ・ 多くのニーズの話が聞いてよかったです。
- ・ メンタル的なことや母子に関わる時の姿勢、見守って寄り添える援助が出来る事のやりがいを学ぶことができました。

- ・ 人生観の学びをさせていただいたと思います。とても充実した設備、スタッフでうらやましいです。助産師の仕事のやりがい、素晴らしさを熱く語っていただいて感動しました。
- ・ 素晴らしい医師と助産師さんの講義胸を打たれ、またやりたくなる気持ちが湧き出てきました。
- ・ 人生訓を得たようで自分にできることを無理なくしていこうと思います。
- ・ 人生哲学最高でした。三宅医院で出産してみたい。神津さんのお話熱意があり、すばらしかったです。お体を大切にしてください。
- ・ 素敵な病院でこういう先生がトップでいらっしやると働き易いと思いました。癌でいらしたのに気丈に前向きに対応され、フォローもされつつ活動的でまさに“QOL”だなあと素晴らしい産科のせんせいだなあとと思いました。
- ・ 物静かにお話しされる中に、人間愛のある内容と神津さんのお話とかみ合わせすばらしいお仕事をされていることに感銘しました。大変楽しく有意義な時間でした。
- ・ 倫理面でも学びがあり自分の人生を考えさせられるよい機会でした。
- ・ 先生の医療全般に対する考え、人生論、これからの人生全般において大変役立ちました。希望と光を与えてくださいました。ゲームも楽しかったです。
- ・ 人間観（人生について）も考えることができた。助産師さんの生の声も聞く事ができた。もう少しゆっくり聞きたかった気がします。
- ・ 人生の教訓を色々教えてくださいました。もっと早くに聞かせていただきたかったなあとと思いました。
- ・ スピリチュアルなところも聞いて楽しかった。講義の中で色々なことを聞けると思わなかった。
- ・ テーマとかけ離れたお話しでしたが、とても背中を押される思いがしました。テーマに関する内容も大変興味深いところなのでそこも十分に話していただきたかったです。
- ・ 先生の人生の考え方、とってもユニークで私も楽しく力強く人間力を高めて生きたいと思います。
- ・ 貴重な人生話ありがとうございました。素晴らしい仕事をしていらっしやるのがよくわかりました。今の生活を意識しながらすごしていらっしゃるご様子ありがとうございました。
- ・ 先生の色々な人生経験からの人生観は深いものであるなどと思いました。夢に向かって努力すれば夢は叶う。そのとおりだと思います。情熱や想いを忘れずに痛いなと思いました。
- ・ 助産師をする時の心構え、お金だけでなく、意味、天命、冥利など人生についてなど考え広く見て行きたいと思っています。
- ・ 人生のお話を交えての講義とても面白く我が人生も振り返ることができました。人のため社会のために役立つ事もあるのではないかと考えられるようになりました。
- ・ 人生観など共感する部分が多くあり、とても言いお話しでした。チャレンジパーソンという考え方、私の中で大切にしていきたいと思った。
- ・ プラス思考で物事を対処する人生、老人医療が騒がれている今日、産科医療の尊さを述べられていて共感しました。
- ・ 先生のあたたかな人柄が感じられました。いき方についての話が聞いてよかったです。
- ・ いい先生なのだろうと思うが、フランス料理、美容整形、セルライト除去を売りにしているのは、どうなんだろうかと思っていたが、でも母子のために色々手を広げていることは伝わった。最後の人生観は大変よかったです。
- ・ 見明け先生の哲学と野望がわかりました。ワークシェアリングしていける病院が増えるといいと思います。
- ・ 豊かな人生で・・・もあり楽しかった。人間力を高めることの重要性、楽しく生きる姿勢参考になった。
- ・ 期待が強すぎたせいでしょうか、やや退屈でした。しかし三宅先生にお会いできたのは嬉しかったです。
- ・ これからのことや現状について知ることができた。人生についていろいろと考えさせられました。

● その他気づいた点

- ・ 平成15年夏に新生児訪問指導者研修会を受講させていただき、当時は専業主婦でしたが、そのご勇気をだし、保健センターでのお手伝いをするようになりました。今回も色々学ぶ事が出来たこと感謝しています。現在はじめての新生児訪問においても生かせる事が沢山ありました。
- ・ 有意義な3日間を過ごせました。
- ・ 十分満足させていただきました。もう一度働きたいです。深く感謝いたします。
- ・ 3日間の研修有意義で本当に楽しかったです。参加できたこと感謝しています。助産師への期待が実感できて生きる元気をいただきました。
- ・ 給料について現実とは違うでしょうが、そのぐらいの価値はある仕事であると、ご褒美と自負を載せて、不足分はボランティアと考えて。今回とても充実した内容でこのように素晴らしい講師陣をそろえられたものだと日本助

産師会の内容活動に感謝します。助産師が医療職からも地域の方からも必要かつ大切な存在となれたら参加や小児科が元気になると思います。

- 3日間大変充実した時を過ごせました。やはり助産師って素晴らしいんだと再確認できました。
- 今回のプログラムはとてもよかったです。講師の選択が大変素晴らしく内容も充実していました。諸先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。
- 今回研修に参加させていただき私にとって大変勉強になりました。皆様に感謝しています。
- 時給に関して学生の家庭教師でも時給5,000円以上はとるので、勤務形態は非常勤だと社会保障の点で不十分なので。まだ学ぶ点が多いと感じました。
- 託児があれば全部講義が聞けるのだが。
- 講師の先生方がみんな素晴らしい先生方でした。よかったです。1月という時期的なものが忙しい時期(子どもの受験)だったのでちょっと参加するのが大変でした。
- 病棟(産婦人科)閉鎖により潜在してしまった助産師は今後増加すると思われませんが、周りはそこで院内助産所と叫べれます。医師がいない中、病院側の認可も中々難しい。私達も自信がないと踏みとどまってしまうのが現状。その背中をしてくれるような研修がよい。私は総合病院で看護師としては働いており、明日から又混合かの3交替勤務の世界へ戻っていきますが、この研修のお蔭で助産師としてのほこりをわすれず内なるメラメラを助産師として再び活躍できるよう維持する糧となりました。このような場に参加でき本当に有意義でした。
- 受講してとてもよかったです。受けるまではブランクの事でただただ自信のない不安ばかりが心の中にあっただけですが、「助産師さんは必要とされている」「自転車に乗るようなものでまた乗れる」「いろいろな働き方がある」と力強く語っていただき私にも何かできそうだと思う事ができました。病院、診療所など電話して就職活動してみます。
- 今回受講できなかった日があるので機会があればまた受講したい。暖かい時期に開講してほしい。このような会を開いていただき参加できて最近の動向など少し知識として吸収できました。また研修など開催の折には連絡いただきたいと思います。スタッフの皆様ありがとうございました。
- 現在看護師として働いているが、何かお役に立てる機会がありましたら参加したい。
- 無料ということで厚生労働省をはじめ社会からの助産師への期待を感じました。このことをもっと世間にPRしなければいけないですね。
- 初日と最終日にグループワーク的なものがあるとよいとおもう。少しでも集団でお互い話す機会があれば(マッサージの演習など)2回目のグループワークは充実すると思う。
- 日本助産師会は専門職に相応しい研修会を継続されてすばらしい
- 様々な講義を聞き学び、大変有意義な3日間でした。今回の学びをもとに助産師として一歩踏み出していければと思っています。
- 仕事を再開するに当たって血液感染についての不安、保険についてなど不安がある。
- 助産師として就職希望があります。助産業務からしばらく離れているので保健所などで保健指導や健診などのような就職内容で応募した事があります。そのとき応募先の開業の先生は助産業務をばりばりやって夜勤もできなと言われて断られました。資格を活かしたい、週に2~3日なら勤められると思っても職場がありません。
- オリエンテーションの時、楽しく学習してくださいと言っただき、本当に楽しく学習できました。若い方が沢山参加をされていたのが心強く、知った方が一人二人でしたが、今年初めての研修会参加、待った甲斐がありました。

厚生労働科学研究費補助金（医療技術評価総合研究事業）
分担研究報告書

助産ケアの提供システムに関する研究
中堅助産師のキャリア開発からみた職場異動に関する研究

分担研究者 遠藤俊子 山梨大学大学院医学工学総合研究部 教授

研究要旨

安心して子どもを産み、育てる環境の整備が、現在極めて重要な課題になっている。21世紀初頭における母子保健の国民運動計画においても、「妊娠・出産に関する安全性と快適さの確保」が4つの主要課題の一つとして提示されているが、本研究課題の「助産ケアの提供システムに関する研究」は、周産期医療において重要な役割を担う助産師の確保などについて検討するものである。わが国の助産師の平成16年末の就業者数は26,040人であり、その内の68.2%（17,753人）が病院勤務であった。分娩場所別の出生数からみても、助産師の就業場所の偏在が指摘されている。

本研究は、病院に勤務する中堅助産師の職場異動に関する意識と実態について明らかにしていくことである。今後、助産師のキャリア開発の視点から分娩件数の減少した病院からは、診療所や他病院への異動を視野に入れた就業相談（キャリアカウンセリング）も考えられる。本研究は、その基礎資料となることを目的とした。

平成17年度は、日本看護協会会員である助産師が25名以上勤務する、全国139箇所の病院に調査を依頼した。概ね、助産師業務経験5年以上と考えられる27～60歳の助産師2000名を対象に配布を依頼し、個別郵送回答で800名の回答を得た（回収率40%）。

その結果、転職経験は39.4%があると回答した。職場選択の理由は、初回は「教育・研究体制がしっかりしている」が最も多く、2～4回目は「通勤の便がよい」を最も多くあげ、5回目以降は、「通勤の便」に加え「日勤のみ」「給与水準がよい」「その他」などが挙げられた。

診療所への就業意向も、是非働きたい3.4%、選択枝として考えたい62.5%と、異動の可能性は示唆されたものの、異動の具体的な計画などは乏しかった。これらのデータを基に、診療所のイメージや助産師に求められる能力、現在の病院における業務や満足度との関係の分析を行うことで、今後の異動に関する諸条件を明らかにしていきたい。